

臨時農業生産情報

(降霜に対する技術対策)

令和6年5月1日
青森県「農林水産力」強化本部

青森地方气象台によると、県内では、5月2日の朝は冷え込み、霜のおりるおそれがあり、今後数日も降霜に対する注意が必要です。

この時期の農作物は、降霜等の影響を受けやすく、特にりんご等果樹の開花期は、最も低温に弱い時期となることから、今後の気象情報に注意し、次の事項に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

1 水稲

- (1) ハウス育苗では、保温資材で被覆するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル育苗では、保温資材で二重被覆するか育苗箱の肩の高さまで湛水する(排水良好な苗代に限る)。
- (3) 霜害を受けた場合は、速やかに苗に散水し、被害の軽減に努める。

2 野菜・花き

- (1) ハウス栽培では、保温資材で被覆するか暖房器具で加温する。
- (2) トンネル栽培では、保温資材で二重被覆する。
- (3) 露地栽培の場合は、べたがけ資材で被覆する。
- (4) 被害を受けても回復の見込みがある場合は、早急に葉面散布剤などの散布により、回復に努める。また、苗の定植は、天候の回復を待って行う。

3 りんご等果樹

- (1) 防霜ファンが設置されている園地では、ファンの始動温度を2℃に設定し、著しく低温になったときは、燃焼法を併用する。
- (2) 燃焼法では、気温が0℃になったら燃焼資材に点火する。
- (3) 開花期間中は、結実量を確保するために人工授粉を丁寧に行う。
- (4) ぶどうの無加温ハウスでは、暖房器具で加温する。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(水稲) 農産園芸課稲作・畑作振興グループ GM 成田 真樹 (野菜・花き) 農産園芸課野菜・花き振興グループ【発行元】 GM 木村 一哉 (りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 小笠原 宜弘
電話番号	(水稲) 直通 017-734-9480 内線 5073 (野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076 (りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5146
報道監	農林水産部 次長 栗林 豊(内線:4967)

【おしらせ】

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農ナビ青森」からお申し込み下さい。

農ナビ青森のHPアドレス

(<https://www.nounavi-aomori.jp/>)

「トップページ」 → 「農業情報ページ」 → 「農業情報」
に掲載



農ナビ青森 QRコード